

早稲田大学 (東京都)



自分の興味・関心、レベルに合わせて総合的に日本語を学ぶことができます

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

早稲田大学は、大隈重信侯によって、近代日本の人材育成を目的として1882年に創立されました。創立当時は東京専門学校と称し、1902年に早稲田大学となりました。

早稲田大学は創立以来、「学問の独立」「実用の教育」「模範的国民の養成」を教育方針とし、その教育方針は現在も早稲田大学の教育と研究の根本をなしています。2017年10月に創立135周年を迎えた早稲田大学は、現在、13学部、大学院22研究科、附属機関等から成り立っています。専任教職員約2,800人(2020年9月時点)、学生約51,000人(2020年5月時点)が所属しており、その歴史と伝統、教育・研究の水準の高さ、卒業生の活躍などから、日本で有数の私立大学として評価されています。留学生の受け入れについても、古くから積極的に推進し、毎年、多くの留学生を受け入れており、現在では約5,600人(2020年5月時点)の外国人学生が学んでいます。

2) 学部・研究科

学部：
政治経済学部、法学部、文化構想学部、文学部、教育学部、商学部、基幹理工学部、創造理工学部、先進理工学部、社会科学部、人間科学部、スポーツ科学部、国際教養学部

大学院：
政治学研究科、経済学研究科、法学研究科、文学研究科、教育学研究科、商学研究科、基幹理工学研究科、創造理工学研究科、先進理工学研究科、社会科学研究科、

人間科学研究科、スポーツ科学研究科、環境・エネルギー研究科、情報生産システム研究科、国際コミュニケーション研究科、アジア太平洋研究科、日本語教育研究科、法務研究科(法科大学院)、政治学研究科(公共経営大学院)、会計研究科(会計大学院)、教育学研究科(教職大学院)、経営管理研究科(ビジネススクール)

② 国際交流の実績

大学間協定数 538 (2020年2月時点)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2020年：留学生数 5,668人、
日本語・日本文化研修留学生(大使館推薦)5人
(大学推薦)6人
2019年：留学生数 6,124人、
日本語・日本文化研修留学生(大使館推薦)10人
(大学推薦)12人
2018年：留学生数 5,783人、
日本語・日本文化研修留学生(大使館推薦)10人
(大学推薦)12人

④ 地域の特徴

駅周辺や早稲田通り沿道は商業の拠点であり、活力のある街です。また、古くから学生の街としての歴史があり、若者が多く集まります。

■研修・コースの概要

① 研修・コースの目的

(b) 日本語能力の向上のための研修

② 研修・コースの特色

日本語教育プログラムは、早稲田大学日本語教育研究センターによって設置・運営されている1年間または半年間の日本語集中学習プログラムです。様々なニーズを持つ個々の学生の自己実現を可能とするために、ゼロスターターから超上級レベルまでの日本語科目をそろえ(1レベル~8レベル)、総合的に「日本語」の基礎的な能力向上を目指す科目や「日本文化」や「日本社会」等に関する科目、本学学部で提供される教養科目等の中から、学生が自らの学習目的や目標に応じて自由にカリキュラムをデザインできるようになっています。

本プログラムでは「日本語学習ポートフォリオ」を導入して、学生自身が自分自身の日本語学習を管理し、振り返りも行います。

また、留学生一人ひとりの日本語学習の目的に応じて個人ごとの学習計画の立案・実施・検証を支援する「わせた日本語サポート」と連携した支援体制を整えています。

③ 受入定員

年度により異なるが、例年20名程度
(大使館推薦10名、大学推薦10名)

④ 受講希望者の資格、条件等

1. 早稲田大学と協定のある大学・大学院に在籍している者で、留学終了まで本属大学に在籍すること。(大学推薦のみ)
2. 成績優秀な者。日本語科目だけでなく、他科目の成績も選考の際に考慮される。
3. 日本語学習への意欲が高い者。

⑤ 達成目標

修了単位である26単位を修得すること。

⑥ 研修期間（在籍期間）

2021年9月上旬 ～ 2022年8月上旬

(2021年9月21日 ～ 2022年9月15日)

- オリエンテーションは入学前の9月中旬に予定
- 修了パーティは7月下旬予定
- 授業終了は7月下旬（補講期間を除く）

⑦ 奨学金支給期間

2021年10月 ～ 2022年7月

⑧ 研修・年間スケジュール

授業以外にも、もちつき大会や各種イベントに参加することで、日本の社会や文化についての理解を深めることができます。

本学の学生交流プログラムを企画・運営しているICC（異文化交流センター）の主催する活動に参加したり、早稲田大学の学生サークル等に参加して、日本人学生や地域の人々と交流し、日本での学生生活を満喫してください。

9月上旬： 渡日
9月： オリエンテーション
11月： 体育祭
早稲田祭（文化祭）
12月： もちつき大会
7月： 修了パーティー
8月上旬： 帰国

（行事内容、時期は変更される場合があります。）

ICC（異文化交流センター）
<https://www.waseda.jp/inst/icc/>

⑨ コースの修了要件

年間26単位（原則として各学期13単位）以上の日本語科目を履修し、合格の成績を取得した者を修了者とみなし、修了証書を授与します。成績証明書については、申し込みをした方に発行します。

単位認定が必要な場合は、予めご自身で所属大学に確認してください。

⑩ 研修・コース科目の概要・特色

1) 研修・コース科目の特徴

日本語教育研究センターの日本語授業には、総合日本語、テーマ科目、オープン科目があります。また、科目は初級の1レベルから超上級の8レベルまであり、自分の興味やレベルに合わせて日本語を学ぶことができます。

・年間26単位（半期13単位）修得できるように自分で時間割を組みます。

・各科目は週あたりの授業回数によって与えられる単位数が異なります。なお、授業は各学期15週行われます。

・日本語教育研究センター設置科目は、原則として週1回90分の授業で1単位が与えられます。

・授業は全て日本語で行われます。

・日本語教育研究センター設置科目は、原則として週1回90分の授業で1単位が与えられます。

・授業は全て日本語で行われます。

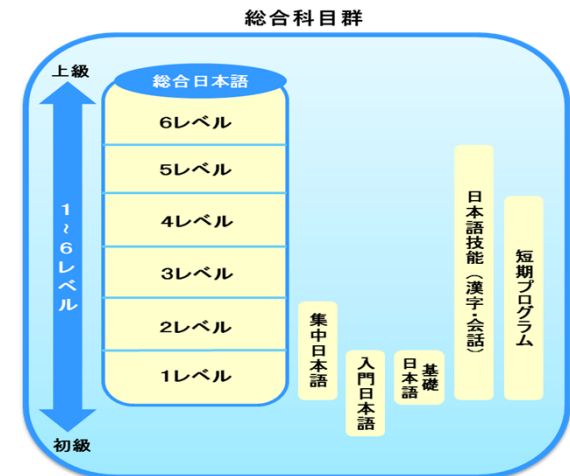
2) 研修・コース開設科目

I) 必須科目・内容

必須科目はありません。必要単位数を修得できるように自分で時間割を組みます。

II) 選択科目（13コマ、19.5時間）・内容

総合科目群もしくは、テーマ科目群から修了要件を満たすよう、年間26単位（半期13単位）修得できるよう選択することが可能です。



3) 研修科目で地域の見学や地域交流等の参加出来る科目及びその具体的な内容

・日本社会や文化についての理解を深めるため、学内外の施設を訪問、見学する科目も提供します。また、本学の学生が日本語授業ボランティアとして活躍しているクラスも多数あり、授業の中でも本学学生と交流することができます。

4) 日本人学生との共修がある科目及び具体的な内容

・日本人学生が日本語学習ボランティアとして、いくつかの日本語科目において、留学生の日本語学習をサポートします。

・希望者は、日本人学生を対象としている他学部で開講されている授業を履修することもできます。(制限あり)

⑪ 指導体制 (2020年10月時点)

【所長】

池上 摩希子 教授

【教務主任】

木下 直子 准教授

寅丸 真澄 准教授



教授 (任期付)	1名
准教授	2名
准教授 (任期付)	4名
講師 (任期付)	7名
非常勤講師	60名
インストラクター (非常勤)	116名

■ 宿 舎

(大使館推薦)
大学を通じ寮を案内します (渡日前の宿舍費の支払あり。入館費用として約200,000円、海外送金にて必要)

(大学推薦)
早稲田大学留学生寮を案内します (渡日前の宿舍費の支払なし。ただし、留学生寮以外の宿舎を選択する場合、渡日前の宿舍費の支払あり)。

■ 修了生へのフォローアップ

日本語教育プログラム修了後の進路

- ・母国等 (日本以外の国) の在籍大学に戻る
- ・母国等 (日本以外の国) で就職
- ・日本の大学・大学院に進学
- ・日本で就職

就職活動において、本学のキャリアセンターを利用することができます。



■ 問合せ先

早稲田大学 日本語教育研究センター
住所: 〒169-8050
東京都新宿区西早稲田 1-7-14
TEL: 03-3208-0477
FAX: 03-3203-7672
E-mail: cjl-ao@list.waseda.jp
URL: <https://www.waseda.jp/inst/cjl/>

早稲田大学留学センターホームページ
URL: <https://www.waseda.jp/inst/cie/>

